



日本アロマコーディネーター協会
チャイルドケア本部 MC会報誌

Peeka Boo No. 15

ピーカーブー

2007年2月28日発行

チャイルドケア・コーディネーター インストラクター制度 導入について

2001年の幕開けと共に、立ち上げた「チャイルドケアホームワーク講座」も今年7年目に入りました。また、2004年春には、ライセンス制度を導入し、個人活動の支援、グループ活動や、コミュニケーションの活性などを図ることを目的にCCL（チャイルドケアライセンス）会員の育成を図ってきました。本来、チャイルドケアは、自由な発想で繰り広げられるものですが、会員数も増え、その枝葉が分かれすぎでしまうことで、情報の混乱や、チャイルドケアの目的意図にズレが生じることも考えられるようになりました。画一的な方法を決めることではありませんが、チャイルドケアホームワーク講座のオリジナルを明確にする必要性が出てまいりました。

そこで、今春よりインストラクターの育成と導入を図ることになりました。

チャイルドケアは、画一的な方法論を知ることが目的ではなく、育児における基本的な考えやケアに対するマインド的な要素が強く、経験的なお話も含め、「教える」ことではなく、「伝える」ことを重視したスタイルになっています。テキストでは理解しにくい部分は、現在、スクーリングにてご紹介

しておりますので、参加いただいた方には、本来のチャイルドケアの意図や目的を理解されていると思います。しかし、現在、開催地区、開催回数、開催日などが限定



されているため、多くの方に参加いただくことは、まだ難しい状況です。

年々増えている、多くの受講生の方にきめ細やかなサポートができずにいることは、大変残念なことです。講師一人に対する負担も増えてきました。

そこで、チャイルドケアをより理解し、普及活動の担い手となってくださるインストラクターの育成を図り、オリジナル性を活かすチャイルドケアを伝えていく機会を増やすことが必要であると考えています。

インストラクターは、チャイルドケアの基本的な内容を理解し、オリジナル性を活かし、普及活動をするのが目的です。インストラクターは、地元でのスクーリング開催時に、講師として積極的に活動いただくこととなります。地元のCCLの仲間と協力することで、スクーリングの開催地を増やし、受講生、一般の方が、スクーリングに参加しやすい環境を整えていくことも大きな目的のひとつです。

また、インストラクター制度導入にともない、4月よりCCLの呼称をチャイルドケア・コーディネーターとしていきます。（P4参照）

また、ご覧いただいている方も多いかと思いますが、当協会会報誌「香羅夢」にて、チャイルドケア講師である松本先生の新た

な活動意図が掲載され、現在のチャイルドケアが、将来的にさらにグレードアップし、「育むケア」だけではなく、思春期までの「見守るケア」から介護を考える「看取るケア」までの「ファミリーケア」に引き上げて、ご提案できるプログラムを、現在企画検討しております。

チャイルドケアは、従来未就学を対象にしてまいりましたが、社会問題となっている世代は、どんどん広がり、小学生、中学生へとケアの必要性と重要性が問われるようになってきました。

チャイルドケアの発足時に赤ちゃんだったお子さんも、7年がたち、小学生になっていらっしゃると思います。チャイルドケアは、「いのちのケア」が基本です。その「いのちのケア」をさらにいねいに、世代別に取り組みたいと思っております。またチャイルドケアは、親が子へ行うケアだけではなく、子が親へ行うケアも同様に考えていますので、ケアに対する幅が必要になってくるのです。

チャイルドケアのコンセプトは、「家族」「家庭」の中にお母さんが行うケアの充実を図ることであり、それがチャイルドケアのファミリーケアになります。新たなステップをご理解いただき、さらに皆さんとともに、活動を広げていければと考えております。今後とも、よろしく願い申し上げます。

日本アロマコーディネーター協会
チャイルドケア本部（MC事務局）



CCL改め、 チャイルドケア・コーディネーターへ そして、CCL会員活動改め、 MC会員活動に変更します!!

この度のインストラクター制度の導入に伴い、チャイルドケアライセンス(CCL)を取得された方を「チャイルドケア・コーディネーター」と呼称していきます。ライセンス取得者はチャイルドケアコーディネーターとして活動することができるようになります。

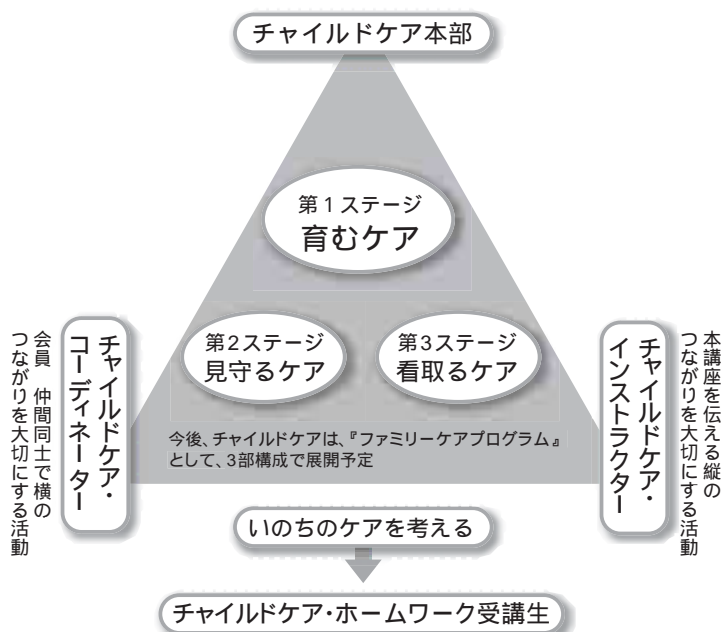
また、それに伴い、現在のCCL会員という表記は排除し、MC(マザーズクラブ)会員活動と呼称を改め、会員同士の横のつながりを深める活動として、今後は明確にし

ていきます。

CCLの地区活動、CCL会員活動の活動方法なども改め、ご提示していきます。詳細は、CCL会報誌に掲載します。

また、チャイルドケア部会という表記も、チャイルドケア本部で統一します。本部の中に、MC活動の事務局を置きます。チャイルドケアは、講座に伴う本部からの直接の活動に対して使い、会員同士の活動においては、MC活動とし、役割を明確にしていきます。

チャイルドケアの講座システム



チャイルドケアライセンスと インストラクターの位置づけ

チャイルドケア・コーディネーターは、それぞれの地元に根付く文化を生き、地域に密着する普及活動や、チャイルドケアコーディネーター同士の仲間で行うグループ活動など、横のつながりを広めるための資格として生かすことができます。

一方、チャイルドケア・インストラクターは、チャイルドケアのオリジナル性を理解いただき、その普及に努めていただきます。チャイルドケア本部と連結しJAA主催のチャイルドケアスクーリング講師を務めるほか、本部と受講生を結ぶ役割を担うための活動をしていただきます。

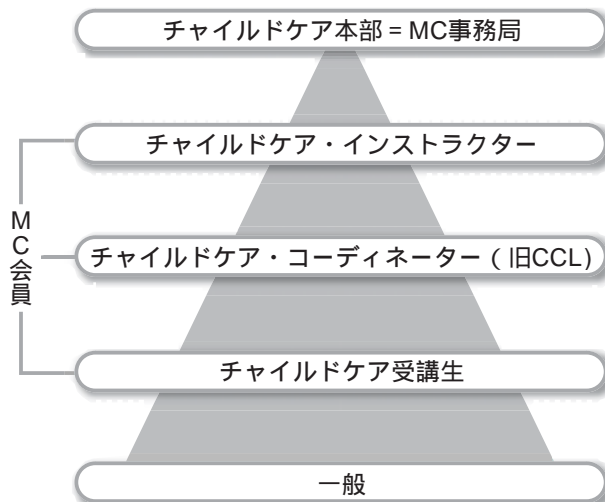
ライセンス名称	呼称名	位置づけ	活動	共通点
チャイルドケア・ライセンス(CCL)	チャイルドケア・コーディネーター	受講生やライセンス取得者同士の横のつながりを軸とし、地域活動・仲間作りの実践	CCL会員活動 改めMC(マザーズクラブ)会員活動	普及活動 チャイルドケアの
チャイルドケア・インストラクターライセンス(CCIL)	チャイルドケア・インストラクター	チャイルドケア本部と連携し、情報、知識をボトムアップさせる縦のつながりを軸とした活動	チャイルドケア本部との連携による チャイルドケア活動	

チャイルドケア・インストラクターの条件

- MC会員であること
- チャイルドケアライセンス（CCL）認定試験に合格した者
- ガイドブックの購入必須後、チャイルドケア・インストラクター認定試験に合格した者

チャイルドケア・インストラクター認定試験の実施は、今秋より開始いたします。試験実施要綱については、次号のピーカーブー（6月発行 / No.16）にてお知らせいたします。

チャイルドケアの資格ポジション



マザーズクラブ(MC)について

今春からの新規導入や、改名に伴い、マザーズクラブ（MC）について詳細を再度掲載します。システム上、紛らわしい表記などもありましたので、わかりやすくな

るように表記の仕方を変更します。CCL会員の呼称は、4月より排除します。なお、ライセンス取得者に対する内容に関しては、これまで同様CCLと呼称していきます。

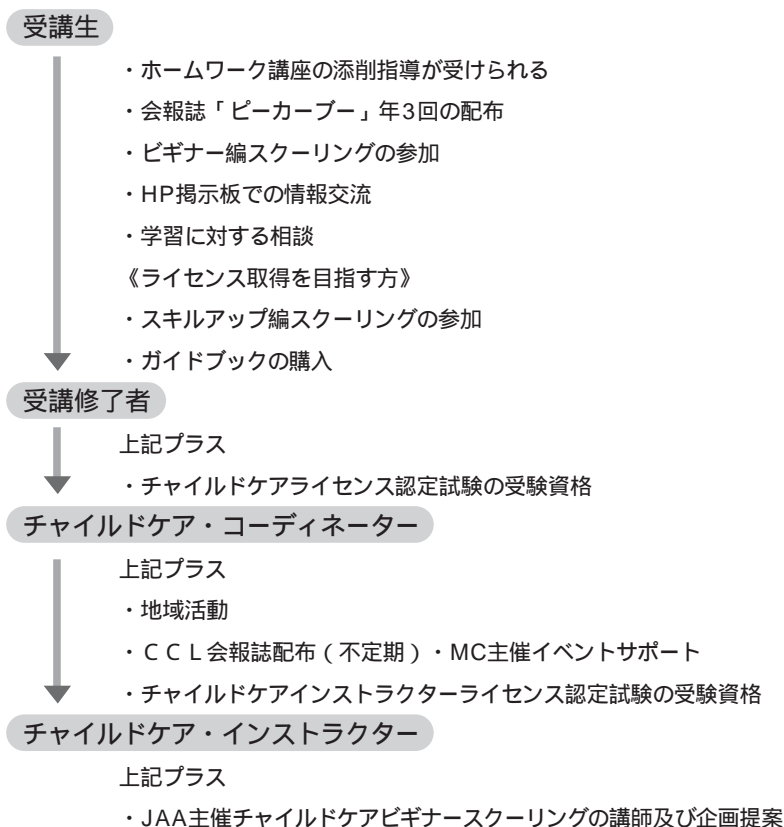
マザーズクラブ（以下MC）会員とは

MCではチャイルドケアのネットワーク作りを主体とし、MC会員は、情報交流・情報交換の場を共有する「横のつながり」を持つことができます。また、MC会員の種別に併せて特典がプラスされていきます。MCを統括するJAAは、それらのネットワーク作りのサポートと運営を行っています。



MC会員種別

MC会員特典



MC会員の登録と更新について

MC会員登録

ホームワーク講座の受講開始と同時に自動登録します。

MC会員更新

受講期限終了時に、更新案内の送付。

更新手続き後、引き続きMC会員の特典を受けることができます。

MC会員の年会費について

受講期間中は免除

MC会員更新より / 12,600円 (年)

更新期限は無いため、状況に応じて更新を行うことができます。

手続き時期	MC会員有効期限	年会費振替月
1月～4月までの場合	5月1日～翌年4月末日	6月6日
5月～8月までの場合	9月1日～翌年8月末日	10月6日
9月～12月までの場合	1月1日～同年12月末日	2月6日



ライセンスを
目指す
人のための

チャイルドケア・ホームワーク講座 ガイドブック 完成！

巻頭のお知らせのとおり、今春よりオリジナルチャイルドケアの普及の担い手となるインストラクター制度をスタートします。そこで、現在のホームワーク講座テキストを掘り下げて、より詳しく、より具体的なチャイルドケアのガイドラインを示すために、「ガイドブック」を製作し、ご提案することになりましたので、お知らせします。

知識を知恵にかえて活かす = チャイルドケア

「チャイルドケアの知識・考え」+「実践」+「経験」=

「自分のチャイルドケアを見つける」

「自分のチャイルドケア」+「知恵」= 自信

「自信」+「行動」= 奉仕、普及活動、スキル向上へ

これがまさにチャイルドケアの目的です。知識や情報だけを取り入れただけでは、自分で使うにしても上手に使いこなせません。人に柔軟に伝えることもできないのです。実践して、初めてわかることがあり、失敗も次につながるための課題になります。子育ては、まさに経験をしながら、

育児、育自をしていくことです。ぜひ、根本的なホームワーク講座の意図を理解し、学習を深めてください。

ホームワーク講座のテキストの意図

チャイルドケアのテキストは、「考えること」をテーマに実践を通して理解していただくことを目的としています。学び方としては、テキストを読み、実践し、ご自身の経験や考えを踏まえながら、さらにテキストの行間にあるメッセージを考え、チャイルドケアは、どういうものであるべきかをご自分なりに、考え、行動していただくものになっています。

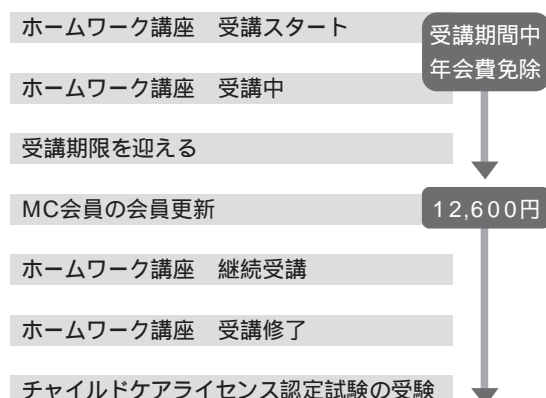
したがって、マニュアルのようなテキストではなく、逆にこれを特徴として打ち出している講座であると言えます。それは、最終的に自分自身で、「自分のオリジナルのチャイルドケアを作ろう」という目標を持っていただくためでもあります。

ガイドブックの製作にあたって

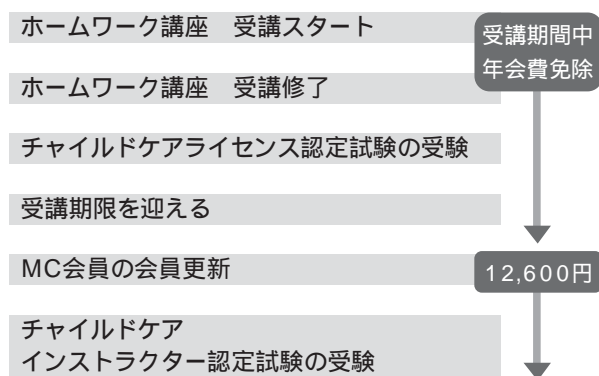
巻頭からの繰り返しになりますが、チャイルドケアの自由な発想や広がり、かえって戸惑いや誤解を生じてしまう、本来の意図を超えたチャイルドケアが伝わってしまう

受講期限内(年会費免除中)に、ライセンス取得をされるケースもあります。
下記の例をご参考ください。

< Aさんの場合 >



< Bさんの場合 >



< 次回のMC会員更新該当者 >

この度、受講期限終了を迎える方(右記の受講番号該当者)は、
3月上旬にMC会員更新の書類を郵送いたします。

05CH102 / AC05-1 ~ AC05-4 / AD04-Z /
AD05-1 / AG05-1 ~ AG05-4 / AL05-1 ~
AL05-4 / C006-1 ~ C006-4 / C106-1

など、様々な誤解を回避するために、チャイルドケアの統一性を図ることを目的とした、ガイダンスの必要性が出てきました。そこで、「ガイドブック」というひとつの形としてご提案することになりました。

このガイドブックは、インストラクターを目指す方は必須となります。チャイルドケアの意図をしっかりと把握していただくことができるようになっていきますので、CCLを習得し、活動をされている方や今後、チャイルドケア・コーディネーターを目指す受講中の方も購入できます。ガイドブックを活用することで、テキストをより具体的に理解し、内容の奥深さを学ぶことができます。ご自身のスキルを上げ、チャイルドケアの普及にご協力いただければ幸いです。

ガイドブックの特徴

テキスト内のわかりにくい部分を明確化 チャイルドケアでの学びをより深めることができる

テキストの各章のレッスンポイントを掲載 チャイルドケアの一貫した考えや意図を把握できる

過去のスクーリング内容や会報誌「ピーカーブー」の内容を一部掲載 テキストには掲載していない内容を知ることができる

その他の勉強の仕方や、レジメの作り方を紹介 チャイルドケアのステップアップにつなげていくことができる

ガイドブックの内容(一部)

チャイルドケア・ホームワーク講座の意図 / チャイルドケア・コーディネーター活動と目的の意図 / チャイルドケアの可能性 / Q&A / チャイルドケアの学習目的 / レジメの作り方 / レポート提出方法 / テキスト以外の勉強の仕方 / 各章レッスンポイント / CCL試験について 例題つき / インストラクター試験について / その他
サイズ / B5判

ガイドブックの購入方法

対象者

チャイルドケア・インストラクターを目指す方(必須)
CCL、現在受講中の方を含むMC会員

価格 / 6,300円(送料込み 別途代引き手数料315円)

購入方法

電話にてお申し込み後、代金引換でお届けいたします。

購入開始

2007年4月以降 春のスクーリング参加時に購入可

先行予約

2007年3月より先行予約でのお申し込みが可能です。

日本アロマコーディネーター協会 TEL / 03-5413-1260

Schooling in Fukuoka

去る12月9日、福岡で追加スクーリングが開催されました。現在、福岡、札幌地区のスクーリングは、年1回のペースで開催されておりましたが、九州地区の受講生、CCLの皆さんのたくさんのご要望もあり、今回、九州地区のCCL会員の自主活動の一環として、チャイルドケア本部とCCL活動の共催という形で追加開催が実現しました。ご協力いただいたCCL会員のお二人に今回の活動の感想をうかがってみました。



九州地区リーダー

岡田 亮子さん

写真左

CCL会員 S.A

金谷 英津子さん

写真右

♡ スクーリング開催をしようと思ったきっかけは何ですか？

岡田さん（以下敬称略）...松本先生の講義を直接受けることで、初めて気づくことや、パワーをもらえるので、さらにチャイルドケアに対する思いが強まり、広げていこう！と元気がでます。だから多くの人に参加できるきっかけを作りたかったんです。

金谷さん（以下敬称略）...スクーリングを通して、受講生同士の交流の機会にもなり、情報交換や悩みを話すことができます。私たちも、スクーリングがきっかけで仲間になりました。

♡ どのようにチャイルドケア本部に話をすすめたのでしょうか？

岡田...仲間で、協会に何度か連絡をして、担当の方に

気持ちを伝えることから始めました。最初は難しいと言われたんですけど。熱意が伝わったと思います。

♡ 開催に向けて具体的にどのようなことをしたのですか？

岡田...会場を押さえることと、九州地区の受講生の皆さんにメールやお電話で参加を呼びかけました。

金谷...受講生の方と直接交流できる唯一の機会なので、九州地区としての意見や希望などを知るために、独自にアンケートを作成し、実施しました。

♡ 大変だったことはどんなことでしょうか？

岡田...私はちょうど出産を控えておりましたので、そういう状況での活動は大変でした。金谷さんと協力しなければ、できないことでした。

金谷...同じ地区とはいえ、交流していない方も多く、その方たちへの呼びかけが大変でした。

♡ スクーリングが無事開催され、どのように思いましたか？

岡田...参加してくださった、受講生の皆さんが「参加してよかった」「励みになった」と笑顔で帰られる姿を見て、実現できてよかったと思いました。

参加された方との交流や感想など
ありましたか？

岡田...現在どのような活動をしているのか、どのような悩みがあるのか、お互いに情報交換ができました。

金谷...アドレスの交換をしたり、写真を取り合ったり、初めて会った気がしませんでした。仲間が増えた実感がしてうれしかったです。

九州地区の活動の要望や希望が
ありますか？

金谷...九州も地域が広く、受講生同士なかなか会える機会が少ないので、福岡だけではなく、他の地域でのスクーリングが開催できればいいと思います。

今回の活動で、他の地域の方への
アドバイスなどありますか？

岡田...電話やメールなどで連絡をとり合い、他の地域の方にも積極的に連絡をとってみる事です。お互いの

地域の活動状況や悩みや活動への
ヒントなどを得ることで、活動
に幅が広がります。

金谷...スクーリングでもお話
があったように、「まずは行
動！」だと思います。コミュニ
ケーションを豊かにするため
は、勇気ある一歩が必要だと感じま
す。そのなかできっと見えてくるものがあ
ると思います。仲間を得て、ともに考えることで、大変
なことも楽しくそして、かけがえのないものになります。



九州地区の皆さんにメッセージを

岡田...仲間同士お互い励ましあいながら頑張っていきたいです。そして、少しでも多くの方にチャイルドケアを伝えていきたいです。一緒に活動したいと思っ
てくださる方は、どうぞご連絡ください。他地域、遠
方の地区の方もコミュニケーションを図りませんか？お
待ちしています。

Schooling Report in Fukuoka

CCCL会員 安田 朋美さん

鹿児島県名瀬市



10月にライセンスを取り、その後の活動を始めるにあたって、チャイルドケアの実態や活動というものを、見て聞いて感じたいと思い、今回初めてスクーリングに参加させていただきました。

奄美大島からの参加は、鹿児島で飛行機を乗り継いで半日がかりの移動と、スクーリング前後は宿泊を余儀なくされるということもあり、5ヶ月の娘を連れての参加は想像を絶するものでした。しかし、松本先生の講義はその苦労も無にならない中身の濃い、とても深い愛を感じるものでした。

私は20歳で双子の女の子を出産しました。若くして親になったことで、子どもが周りから笑われまいと、子育ては自分なりに愛情と信念をもって、時には厳しく取り組んできました。その子どもたちが6歳になった頃、3人目の妊娠がわかり、新たな命の誕生を前に、今までの6年間を振り返ると、必死になり過ぎたせいか、

はっきりとした記憶が残っていないのです。そんな現実を目の当たりにした頃、チャイルドケアとの出会いがありました。テキストの内容は、今まで心に留めてきた信念があり、そしてなにか暖かいものを感じました。「よし！もう一度、このお腹の子と一緒に、今度はじっくりと子どもたちと向き合おう！」と決め、毎日、レポートを子どもと一緒に考え、感じ、実践し、親子ともに癒され、今までを取り戻すかのように出産までの時間を楽しく過ごし、それは今も続いています。

私の住んでいる奄美大島はとても自然が豊かなところです。しかし、私を含めその中にいる人は、それが当たり前すぎてその良さが見えなくなりやすいのかもしれない。今回のスクーリングで、今までより具体的にチャイルドケアについて理解できたと同時に、先生の「もっと自然を感じ、感謝すること。私たちはとても大きな存在に生かされている。」という言葉から、改めて自分の住む自然の豊かさが素晴らしいものであり、偉大なものであるということに気づかされました。そして私の経験を生かし、何か出来ることがあると自信を持つこともできました。CCCL会員の九州チームの仲間たちにも出会え、とても心強く感じられたので、これから自然の恵みをもっと勉強し、奄美なりの活動を皆さんに伝えていこうという気持ちをもらえたスクーリングでした。

託児ボランティアよい

12/7(木)東京会場では、CCL会員による託児ボランティアを設けました。東京会場では、毎回実現しており、今後も各地区で広げたいと思っています。託児ボランティアをされたCCLの方とそれを利用した受講生の方との温かいつながりが生まれています。



小林さん→石井さんへ

こんにちは。この間のスクーリングでもお世話になりました。最初は人見知りすると思っていましたが、石井さんが名札の横に絵を描いてくれて娘は大喜び!でした。

託児スペースに近い席だったこともあり安心してお任せ出来ました。ビギナー編、スキルアップ編とも参加で長い時間遊んで待っていてくれたのも、気かけ声をかけていただいたからだと思っています。

子どもたちの中ではいちばんお姉ちゃん、赤ちゃんが泣くと気かけたり、ちっちゃん子を連れ歩いて歩いたり.....帰る頃には顔つきが頼もしくなったと感じました。

これまでは、なかなか子どもの預け先がな

く、泣く泣くスクーリングに参加できずにいましたが、今回は託児があるということで始めてスクーリングへ参加することができました。石井さんに娘もすんなり慣れて遊んでいたのも、私も松本先生の講義に集中でき、とても充実したスクーリングだったと感謝しています。ありがとうございました。また、お会いできると嬉しいです。



利用した受講生
小林 麻紀さんのお子様
結花(ゆいか)ちゃん
4歳

託児ボランティア募集

チャイルドケアスクーリング各会場において、今後もCCL会員による託児ボランティアを受け付けています。この託児スペースは、1人でも多くの方のスクーリング参加をサポートするものであり、ボランティア者と託児希望者の双方の希望によって、初めて託児スペースを設けることができます。

託児ボランティアの目的
様々な年齢のお子様との触れ合いを通じて、違う角度からチャイルドケアを学びます。

託児ボランティアの条件
・過去のチャイルドケアスクーリングに1回以上参加したことのあるCCL会員(子育ての有無は関係ありません。)
・ボランティア1名に対して、お子様3名までの託児が目安です。

託児ボランティア募集期間
スクーリング開催日2週間前までにチャイル

ドケア本部まで、お電話にてお申し込みください。

Tel / 03-5413-1260

< 託児希望の方へ >

ボランティアの希望者が無い場合
従来通りお子様同伴(隣席での受講)のスクーリング参加は可能です。

託児を希望される方が多い場合
ボランティア希望の人数に応じ、託児が必要な年齢の若いお子様がいる方から優先とさせていただきます。



石井さん→小林さんへ

小林さん、お手紙ありがとうございます。午前中の5人の中でいちばんお姉さんだった結花ちゃんは、人なつっこくて面倒見がよく、他の子と仲良く遊んでくれて助けられました。午後は、結花ちゃんともお絵かきしたり、シールで遊んだり、折り紙したり.....たくさん遊べて楽しかったです。

小林さんもスクーリングに集中できたこのことで嬉しいです。私は、スクーリングに参加するたびに号泣するほど感動します。だから、ぜひ多くの子育て中のお母さんにも、スクーリングに参加いただきたいと思い、託児ボランティアに挑戦しました。託児に関する資格はなくても、私にできる範

囲で、お子様をお預かりすることは難しいのだと思いました。決して十分な託児ではなかったと思いますが、小林さんをはじめ、皆様のご協力とご理解のおかげで、無事に務めることができました。私にとってもとてもいい経験になりました。私もまた、小林さんと結花ちゃんにお会いする日を楽しみにしています。



託児ボランティアしたCCL会員 石井 直美さん

親子で楽しもう 春休み親子イベント

第2弾!!

ベビー&チャイルドマッサージ IN TOKYO

去年の夏休みに開催し、大好評だった親子イベントを再び、春休みイベントとして開催します。イベント内容は前回と同様予定。(前回の模様はピーカーブNo.14に掲載)

スクーリングでは、講義形式ですが、イベントでは、がらりと雰囲気を変えて、親子で楽しく体感できるものをご提案していきます。当講座のベビーマッサージ&チャイルドマッサージの意図と効果を体感できるチャンスです。同年代のお子様を持つチャイルドケアの仲間とのコミュニケーションの場にもお役にたください。

日程 3月29日(木)

10:30~12:00

お子さまの対象年齢 1歳未満 20組まで

13:30~15:00

お子さまの対象年齢 1~3歳 20組まで

場所 東京 カルチャーキューブ渋谷校

費用 MC会員 / 3,000円

申し込み窓口 日本アロマコーディネーター協会

TEL / 03-5413-1260

参加定員に限りがございますので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。

お子様が2名以上になる場合はご相談ください。

< ボランティアスタッフ大募集! >

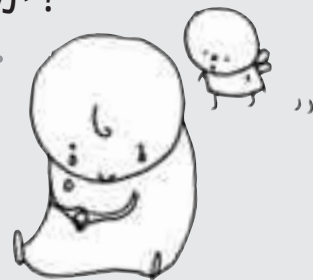
イベントをサポートし、盛り上げていくためのボランティアスタッフを募集します。育児経験のない方でも問題ありません。3月10日までにご連絡ください。なお、現在東京での開催が続いておりますが、他地域でのイベント開催は、ボランティアの申し出がない場合には、残念ながら開催ができません。CCLグループでのボランティア参加のお申し出があれば、今後開催を検討していく予定です。皆さんで作りに上げるイベントにしていきたいと思います。

Q&A

Q 子どもは、肌が弱く、乾燥肌です。とびひや、水いぼを繰り返し、皮膚科でとってもらいましたが、跡が残っています。冬は乾燥してクリームを塗っても、かゆがってかいてキズができています。肌を強くする事はできるのでしょうか？

A 最近のお子さんのスキンケアに多い悩みです。昔と違い、住居環境が良すぎることで、いつも快適な状況になっていることで、肌の恒常性維持機能は低下していることも原因のひとつかもしれません。また、体を使って、汗をかく習慣が減っているので、肌がいろいろな状況に対応できにくくなっていることもあるでしょう。肌を強壮することは、外的にケアすることだけではなく、内側からのケアも必要です。代謝を活発にさせ、肌の新陳代謝を高めることも大切です。水いぼやとびひは、7歳前後で落ち着いてきます。免疫がないので仕方ないのです。ツメをこまめにしていねいに、やすりで削り、かきむしらないようにしてあげましょう。悪い部分だけを取り除くのではなく、できるだけ悪い部分を悪化させない工夫をすることもケアになります。

チャイルドケア講師 **松本 美佳**



A SA **萩原 洋子さん**
(保育士)

皮膚が弱いと、やはりトラブルも起こりやすくなりますが、いずれも、細菌感染・ウイルス感染が原因で悪化します。普段、お子さんの肌の様子をこまめに観察し、早めの対処を大切にされると良いでしょう。毎日の変化をチェックするには、お子さんが気にしすぎるので、神経質にならないように、入浴時にさりげなくおすすめて。予防という面では、清潔にすること。またお母さんの手でマッサージしてあげる習慣を作ることで、コミュニケーションにもなり、肌も強くなり、異常への気づきも違ってきます。

*
* チャイルドケア
* 専門サポート
* アドヴァイザー
*
*
* SA紹介
*
*
*
*
*
*
*
*

萩原 洋子さん

長野県佐久市 / 保育士



保育士の資格を取得して21年になります。現在、13歳、10歳、6歳の三児の母です。チャイルドケアやアロマを通して、「日常のケアは誰にでもできるシンプルなもの」ということを学びました。自然療法、自然治癒力を少しでも理解して頂けたらと思っています。親子の笑顔が少しでも増えたら嬉しいです。

やさしい手

受講生 中川 千賀さん



「母さん、こころが思っていること当ててみて！」7歳の長男が、夜、布団の中で私の手をギュッと握りました。子どもの発想は豊かで、私には邪念が多いのかな……。なかなか当たりません。「今度は、母さんが思ってみて！」すると「わ～手からググッと来た！」と見事当てるのです。

「手から伝わるもの」私は、以前受講した松本先生のスクーリングで、テキストの奥に隠れているたくさんのかんじました。手で茶碗を洗う、手で掃除をする、手で観葉植物を愛でる……。体を手でケアする以外にも、手を使い感じ取り伝え合うことができるのだと感動したものです。

早速、我が家でも実践すると、自然に子どもたちも手で感じ取ることが大好きになりました。長男は幼稚園の時、給食で出た柿の種を大切に持ち帰り庭に埋めたのですが、いつの間にか芽が出て、小学校1年生になった昨年30cm程に成長しました。とても喜んだ長男は優しく柿の葉をマッサージしています。

春で2歳になる次男は、蜂蜜ローションやアロマクリームでケアした私の手が大好きで、私の両手を握りながら寝るのを好みます。添い寝しながらこの体勢は少し辛いものがありますが、手から次男の幸せが伝わり私も幸せになります。この子もいつか「母さん、かなでが思っている事当ててみて！」と言うのか楽しみにしながら眠りにつくのです。

失敗ばかりの私のチャイルドケア……。次男の高

熱が続き、心配していた私は病院で「子どもの体の色を見ていない。」と怒られました。肝機能が落ち、胸が紫色になっていたのです。結局、左半身の酷い痙攣を起こし入院となりました。服を一枚めくれば分かったケア……。でも、入院中も子どもたちは、こんな私の手を離さずにいてくれたのです。

先日、私のサロンのタッチケア教室に7ヶ月の早産で生まれた可愛い赤ちゃんがママに抱っこされて来られました。「オッパイをなかなか飲まなくて。」とても心配そうなお母様。でもママも赤ちゃんも本当に幸せそうに見つめ合い、ママの優しい手から伝わった温かさを感じた赤ちゃんは、体験後オッパイを欲しがり、パクッと大きくくわえて飲んだのです。本当にママのハンドパワーは偉大です。

「手から伝わるもの」この目には見えない素敵な宝物を、我が家のチャイルドケアで探し続け、仲間とチャイルドケアの輪を広げていきたいです。夢は広がります。



長男 / 心(こころ) 7歳
次男 / 奏(かなで) 1歳7ヶ月

チャイルドケアとの 出会いとこれから

CCL会員 長井 洋子さん

北海道札幌市在住。



ベビー&チャイルドマッサージの言葉に惹かれ、チャイルドケアの勉強を始めましたが、スムーズにレッスンが進まず、つい延ばし延ばしになってしまいました。その中でもハーブティーは、なかなか飲んで

くれず苦戦しましたが、ジュースに混ぜるなど様々な工夫をした結果、ハーブティーに慣れ香りや味を楽しむことができるようになりました。マッサージしても「こちょばしい」と笑って上手く出来ませんが、少しずつ、気持ちいいと言ってくれるようになり、子どもたち自ら、「背中をマッサージして」とか「足がいい」と言うようになりました。

当初より5年が経ち、2人の子どもも8才と10才になりました。今は私が疲れた時に、肩や背中を揉んでもらうなど助けられることが多くなってきました。

年に1回のスクーリングでは、お話を聞くだけで元気になる松本先生そのものの人間性に触れ、「また、がんばるゾ」と前向きな気持ちになれます。

その甲斐があり2年前にライセンスをいただき、CCL会員の地域活動として、北海道内の仲間に出会うこともできました。初めての顔合わせ後ミーティングを重ねて、ベビーマッサージの練習会を行いました。みんなで役割分担をして、ハーブの話やお母さん

同士のハンドマッサージで心をほくしてからベビーマッサージをするなど毎回いろいろチャレンジしてきました。5名でスタートしたチームも今では11名になりました。

道内は広く距離があるので全員に会うのはなかなか難しいですが、会って話すことでより絆を深める貴重な時間になっています。自分の抱えていることがたいしたことはないと思えたり、助言をもらえたりするので、1人では考えるだけで終わってしまうことも、仲間がいることで行動に移すことができました。

現在は、何をどのように伝えていけばいいのか試行錯誤していますが、それぞれの得意な事を生かして足りない部分は補いながら、みんなで力を合わせて先に進んで行けたらと思います。これからもいい仲間たちと、また全国の仲間たちとチャイルドケアをどんどん広げて行けるよう、お互いの触れ合いを大切にしながらやっていきたいと思っています。



アンケートのお願い

常日頃、チャイルドケアに関する様々なご要望や貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。おかげさまで、多くの方々に支持され、チャイルドケアが成長し、今後もさまざまな可能性を広げるよう努めてまいります。

いろいろなご意見に対して、できるだけ反映させていくことを心がけておりますが、至らない点が多くありますことをお詫び申し上げます。

今回、さらに皆様の声を聞かせていただくために、アンケートの実施をいたします。お答えいただいた内容をもとに、今後の企画等の参考にさせていただきます。積極的なご回答を心よりお待ちしております。

よろしくお願い申し上げます。

<重要事項>

スクーリングの地域開催について

従来開催されている4都市とは別に、他地域での開催要望が多数寄せられております。そのご要望に応え、去年は、名古屋で初開催し、福岡でも追加開催を実施いたしました。しかし、まだ開催地域が限定され、スクーリングへの参加が難しいという方も多くいらっしゃるのが現状です。

そこで、アンケート集計を基に、希望の多い地域でのスクーリング開催を検討することにしました。希望地域開催が可能になるチャンスです。ぜひ、ご要望をお寄せください。開催地の決定は、次号でお知らせします。

アンケート項目D-6 / 地域開催の第一歩として、まずは各地方別に7箇所の地域を挙げました。

アンケート項目D-7 / 7箇所以外の地域については、要望数を把握し今後の参考にしていきます。

<アンケート回答方法と締め切り>

同封の「アンケート回答用紙」にご記入の上、FAXまたはご郵送にて5月11日(金)までにご返送ください。

アンケートの集計結果は、次号のピーカブーNo.16(6月発行)にてご報告する予定です。



A. 個人に関すること

- A-1** 性別
女性 男性
- A-2** 年齢
20歳未満 20代 30代前半 30代後半
40代前半 40代後半 50代
60代 70歳以上
- A-3** 居住地(都道府県)
- A-4** 家族構成
夫婦 夫婦と子どもの核家族
姑・舅との同居 親との同居 その他
- A-5** お子様の有無
いる いない(A-6~A-8は の方のみ回答)
- A-6** お子様の人数
1人 2人 3人 4人以上 その他
- A-7** お子様の年齢
妊娠中 0~1歳未満 1~3歳 4~6歳
小学生低学年 小学生高学年 中学生
高校生 その他
- A-8** ケアするお子様の年齢
0~1歳未満 1~3歳 4~6歳 小学生低学年
小学生高学年 中学生 高校生 その他

B. ホームケア講座について

- B-1** 自宅で実践しているケア(複数回答可)
アロマ ハーブ タッチ&マッサージ
食育 その他自然療法
- B-2** 勉強する時間
午前中 午後 夕方 夜 決まっていない
- B-3** 講座の実習について
全然していない 少ししてみた テキストに
書いてあることはやってみた ほとんどしてみた
それ以上のことを行っている
- B-4** 講座の活用の有無
している していない
- B-5** どのように活用されていますか?
家庭内で 身内に お友達に 仕事で
ボランティアで その他

C. 受講状況について

- C-1** 現在の状況
受講中 受講終了 ライセンス取得者
CCL会員 その他

- C-2** 受講目的（複数回答可）
 自分の子どものため 友人、知り合いのため
 孫のため 子どものケアに興味があった
 自然療法に興味があった スキルアップのため
 その他
- C-3** 受講後の目標や希望
 家庭で利用 幼稚園、学校などのPTAで利用
 スキルのため 職場で利用したい
 専門のサロン開業 その他
- C-4** 地域への発信について
 既実践している これから予定している
 特に今後の予定もない その他
- C-5** チャイルドケアライセンスの活かし方
 保育園・小学校などの教育機関へのアプローチ
 公民館など民間へのアプローチ
 産婦人科など医療機関へのアプローチ
 ボランティア 自営のサロン 職場
 趣味 その他
- C-6** マザーズクラブについての詳細を知っていますか？
 知っている よくわからない
 知らない その他
- C-7** CCLの活動内容を知っていますか？
 知っている よくわからない 知らない
 活動している その他

D.チャイルドケアスクーリングについて

- D-1** スクーリング参加の有無
 ある ない（D-2は の方のみ回答）
 （D-3は の方のみ回答）

- D-2** スクーリング参加回数
 1回 2回 3回 その他
- D-3** 参加できない理由（複数回答可）
 参加したいが、子どもを預ける場所（人）がない
 開催会場が住んでいる場所から遠い
 日程が合わない 特に興味がない
 スクーリングがあることを知らなかった
 知り合いがないから その他
- D-4** スクーリング開催の希望する年間回数
 年1回 年2回 年3回 年3回以上
- D-5** スクーリングの時間帯
 平日 午前 平日 午後 平日 夜
 土曜日 午前 土曜日 午後 土曜日 夜
 日曜日 午前 日曜日 午後 日曜日 夜
 その他 特に希望の時間帯なし
- D-6** 開催可能な地域（7箇所）
 仙台市 長野市 金沢市 名古屋市
 広島市 高松市 那覇市
 特に希望なし
- D-7** 地域開催の希望について（対象/D-6以外の地域）
 ぜひ開催して欲しい どちらとも言えない
 開催希望なし その他
- D-8** スクーリングのほかに希望するものはありますか？
 （複数回答可）
 親子で参加するイベント MC主催の地域交流会
 通学タイプのスキルアップ講座
 各種ワークを行うワークショップ
 チャイルドケア主催のボランティア その他

ホームワーク講座テキスト 訂正のお詫び

テキスト増刷時に生じてしまいました、文体の誤りがございましたことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。テキスト増刷時期にもよりますが、今一度、お持ちのテキストをご確認いただけますようお願い申し上げます。

ページ数 行数	タイトル	訂正箇所
P.20 右側 14行目	皮脂の大切な役割	ピーカーブーNo.12にて変更 「毛じらみ」 「頭じらみ」
P.26下段 左側 6行目以降	フットケアをしましょう	「子どもの場合は…」続きの文章の文字が欠落しています。 「特に反射区を意識しなくとも十分ケアできます。チャイルドケアにおいては、手技の力というよりは、こころの力を重視すべきだと考えていますので、タッチケアでも十分効果はあると思います。」
P.62 右側 20行目	脱ニュースと脱利便性	漢字ミス 「工未」 「工夫」
P.71 タイトル部分	十人十色違う子どもの体質	漢字ミス 「子どもの本質」 「子どもの体質」
P.77 左側 17行目	タッチセラピーの有効性	漢字ミス 「重要」 「必要」

* 春のスクーリング案内 *

講師：松本 美佳先生

受講生、一般の方のためのビギナー編

東京 4/12(木) 6/30(土) 10:00~12:00
 大阪 6/23(土) 10:00~12:00
 福岡 4/21(土) 10:00~12:00
 札幌 6/16(土) 10:00~12:00
 チャイルドケアの基本概念を知っていただくための、基本的な内容になります。チャイルドケアのコンセプトをより理解し、学習に役立てていただくための講座になります。
 一度もスクーリングに参加されていない方、一般の方が対象になります。また、リピート受講も可能です。何度受講されても、基本にもどり理解できることがあることでしょう。

【費用】MC会員 / 3,000円
 正会員 / 4,000円 一般 / 5,000円

CC Lのためのスキルアップ編

東京 4/12(木) 6/30(土) 14:00~16:00
 大阪 6/23(土) 14:00~16:00
 福岡 4/21(土) 14:00~16:00
 札幌 6/16(土) 14:00~16:00

【テーマ】
 チャイルドケアを広げるために～インストラクターの育成
 今回製作されたガイドブックの内容を中心に、インストラクターの必要性と、そのスキルについてお話します。また、今後チャイルドケアの目指す最終目標である「ファミリーケアプログラム」について、お話しさせていただきます。

【費用】MC会員 / 3,000円

【参加資格】

- ・ビギナー編スクーリングに1回以上参加された方(同日含む)
- ・チャイルドケア受講生は、ライセンス取得を目指す方

【申し込み窓口】日本アロマコーディネーター協会
 tel / 03-5413-1260

【振込先】口座名 / 日本アロマコーディネーター協会
 三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店 普通 1920305
 郵便振替口座 00170-4-122869

注意 著作権と個人情報について

最近、個人のブログやホームページを開設されて、チャイルドケアの情報を発信しているMC会員の方も多くなりつつありますが、ここで皆さんにご注意いただきたいのが著作権の問題です。テキストの文章をそのまま掲載されたり、一部使用されている方も見受けられますが、これらを行うことは違法になります。くれぐれもご注意ください。ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

また、本人に承諾もなく、個人名や個人の情報を掲載することは個人情報保護法に触れる問題となります。これらの情報を見つめられた方は、JAAに、ご連絡いただければと思います。

また、チャイルドケアホームワーク講座に関しては、すべて、JAAで運営しております。講師への直接の問い合わせや、質問などはくれぐれもお控えくださいますようお願い申し上げます。講師への質問、依頼、要望などは、JAAにお気軽にお寄せください。

合格おめでとうございます

今回40名の方が新たに
 チャイルドケアライセンスを取得されました！
 皆さまの更なるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

植木 千恵美 / 高橋 美喜 / 細川 悦子 / 外山 真弓子 / 近重 紀子 / 田中 ゆかり / 本村 厚子 / 安田 朋美 / 鈴木 朋子 / 和田 真奈美 / 橋本 知園子 / 越野 禅 / 砂川 ひろこ / 近藤 美代子 / 金川 圭美 / 金子 まき / 松永 幸子 / 高田 美和 / 井河原 さゆり / 岩井原 裕子 / 小嶋 真紀子 / 升谷 恵美 / 林 孝美 / 木原 綾子 / 川腰 容子 / 平松 さおり / 元山 由紀子 / 山本 玲子 / 太田 光名子 / 細江 香織 / 上野 典子 / 橋戸 藍 / 和田 実樹 / 近田 季美子 / 疋田 真希 / 上村 真理 / 岩本 智代 / 吉田 和美 / 熊原 敬子 / 原 三保子

(敬称略 / 2006.10/1 ~ 2007.1/15付)

まみい〜の日記 Vol.8

いろはにほへと

「いろはにほへと...」子どもの頃、訳も分からず口ずさんでいました。今でいう「あいうえお」の音全てが一字も重複することなく、しかもひとつの意味を持つ文であるということを知ったとき、昔の人は凄いな〜と感動しました。そういえば、小中学生の頃、百人一首が大好きでした。上の句だけで取れる札もいくつもありましたが、なによりさらさらと流れるような詩の中に物語があることが惹かれる理由でした。

「いろはにほへと」も百人一首も平安時代に作られたそうですが、その時代の風流な様子と同時に昔の人の文学性や感性に心打たれます。今の子どもたちにも伝えるべき大切なことだと、お正月が気づかせてくれました。



ピーカーブーにおいて、寄稿、ご協力いただいた方の中で、1名の方に感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈呈させていただきます。

日本アロマコーディネーター協会

チャイルドケア部会 (MC事務局)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-15-15 原宿佐野ビル2F
 TEL . 03-5413-1260 FAX . 03-5413-7080

E-mail: info@childcare-jp.com

HP: http://www.jaa-aroma.or.jp/child

マザーズクラブ会員専用ページのご利用には、IDとパスワードの入力が必要です。

ID / ccbukai パスワード / mckaiin